

レインボータウンFM65

伊藤広規 「旅と人と音楽と」

(第 65回 2019.1.23 OA)

【第65回オープニング】

みなさんこんばんは。ベーシストの伊藤広規です。

レインボータウンFM、伊藤広規「旅と人と音楽と」

今夜は第65回目！それでは行ってみましょう！

【新】【説明1】

この番組は、周波数88.5メガヘルツ「レインボータウン FM」から 江東区をキーステーションにその周辺のエリアにお届けしています。

サイマルラジオ、リスラジなどのインターネットラジオなら、日本のみならず世界中でお聞きいただけます。

【トーク】

今夜は、この曲から

Mark O'Connor 1991 年アルバム「The New Nashville Cats」から Bowtie(ボータイ)

【1 曲目が流れる】

マークオコーナーはブルーグラスのフィドラー奏者の第一人者。グラミー賞の常連で、一昨年も受賞しています。

マークは 1961 年生まれ。13 歳の時からナッシュビルでプロとして活躍し始めたんですね。

すごい。私より 7 つも若いんですよ。

だからなんなんですよ (笑)

【問】

バイオリンのことを、フォークとかカントリー、ブルーグラスでは、「フィドル」と呼びます。

私の中でカントリーとブルーグラスのジャンルの違いがイマイチわかってないのですが、このジャンルのミュージシャンは、とにかく超絶技巧の人たちばかりです。テンポが速くなっても、粒立ちの良いフレーズをバシバシ弾きながら、しかも楽しそう！

なんて奴らだ！と、思ってしまうます。

【1 曲目 終わり 2 曲目】

2 曲目は Mark O'Connor 同じアルバムから「Pick it apart」

【曲途中から】

マークオコーナーを聴くまで、ブルーグラスとかカントリーは、あまり聞いたことがありませんでした。

1990 年代になった頃、ギタリストの今剛の家に、よく遊びに行きまして、その時にこのアルバムを教えてもらい、こりゃ凄い！とハマりました。

今剛は、いい音楽を良く知っていて、ギターマンライブ リハで、デビュー前の Canae の声を聴いてアリソン・クラウドが合うんじゃないかという意見が出まして、「ハピネス」という曲で以前このラジオでもかけた事がありますが、流石にアコースティックでのプレーも細かい表情がバッチリでした。

「今」の家によく遊びに行っていた頃、音楽を聴きながら、二人でレーザー光線のオモチャで遊ぶのにハマりまして。ちょうどボールペンくらいの大きさのオモチャで、多面体のガラスに当てて鏡に反射させて部屋中にレーザー光線の線ができるのが面白くて気がつくと朝。いつになっても子供で、大人になれない二人。

マークオコーナーのこの曲を聴くと、今もレーザー光線の赤い光の筋を思い出します。(笑)

そしてこの曲は友達の舞台上で、急いで転換するとき時に、教えてあげて使いました。

それと、部屋を片付ける時とか掃除機かける時もオススメな曲です。

いま会社帰りに聴いてる人は、すぐ家に着きそうな勢いのある曲ですね。(笑)

【2 曲目が終わる】【3 曲目】

3 曲目は、しつとりと、このアルバムで唯一歌物の曲 「Now it belongs to you」

【曲途中】

マークオコーナーの叙情的で、緑の匂いがするようなフィドルの音に魅かれます。

2012年にイギリスのミルトンキーンズという所にマーシャルの本社があって、ジョン・エラリー社長に逢いに行った事があるんですが、そこからロンドンまでの帰り道を、車で送ってくれたんです。

その道は、イギリスの、のどかな風景で、古いお城のような家や、小さな街。麦畑に吹く風をずっと見ながらの約2時間のドライブ。

私の耳に聴こえてくるのは、

マークオコーナーのフィドルの音でした。

また、行きたいなあと、

思う素朴な風景でした。

【間】

《曲終わり》

【エンディング 短い】

さて、今週の伊藤広規 旅と人と音楽と。みなさんいかがでしたでしょうか？

この番組への感想や私へのメッセージなど、伊藤広規『旅と人と音楽と』公式サイトからいただけるととっても嬉しいです。URLはKokiradio.net (コーキレディオドットネット)、アルファベットでケーオーケーアイ アールエーディーアイオードットネットです。

メッセージをくださった方の中から毎月1名さまに、プレゼント。

広規チャリティバンダナと広規ラジオ 特製グッズをプレゼントします。

今月もドシドシメッセージお待ちしております。

では、来週も水曜日

この時間に！

《間》

伊藤広規でした。